

IV. 令和4年度前期 岸和田サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英語表記)	労働経済論 (Labor Economics)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岡田 真理子		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：7月9日(土) 13:00～17:00	第3回：8月6日(土) 13:00～17:00	
	第2回：7月23日(土) 13:00～17:00		
<p>【授業の概要・ねらい】 雇用・労働に関する問題を考えるための労働経済に関する理論を理解し、そのうえで現実に起きている雇用・労働に関わる問題について理論の理解を踏まえて考察する。</p> <p>【授業計画】 第1回（7月9日）：労働市場の理論的枠組(1) ・労働需要と労働供給 ・労働市場の構造と労働移動 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。 復習課題：各回に課される事後課題について、指示に従って対応すること。</p> <p>第2回（7月23日）：労働市場の理論的枠組(2) ・失業のタイプと失業対策 ・失業対策 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。 復習課題：各回に課される事後課題について、指示に従って対応すること。</p> <p>第3回（8月6日）：現代日本における労働問題 ・正規雇用 ・非正規雇用 ・非雇用労働 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。 復習課題：各回に課される事後課題について、指示に従って対応すること。</p> <p>【到達目標】 日本の雇用・労働問題について制度的・歴史的観点から理解を深め、問題点について積極的に議論できる。</p> <p>【成績評価の方法・基準】 第1回～第3回の事前課題：各8点、計24点 第1回～第3回の事後課題：各14点、計42点 最終確認試験：34点</p> <p>【教科書】 授業ごとに資料を配布する。</p> <p>【参考書・参考文献】 永井仁「労働と雇用の経済学」中央経済社 2017年 兵藤つとむ「労働の戦後史」上・下 東京大学出版会 1997年 小池和男「仕事の経済学」第3版 東洋経済新報社 2005年</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 事前課題と事後課題があります。成績評価に関わるため、必ず取り組むこと。</p> <p>【履修する上で必要な事項】 授業資料をMoodle配布します(紙による配布は行いません)。授業にPCを持参したほうが利便性が高いです。 PCを持参しない場合には必ず授業資料を印刷して持参してください。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】 本講義の授業計画に沿って準備学習と復習を行うこと。さらに授業内容に関連する事項の調査・考察を含めて毎回の授業ごとに自主的な学習を求める。</p> <p>【履修を推奨する関連科目】 社会政策</p>			